石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号 0225(22)7711
入試専用FAX 0225(22)7809

「共創研究センター」設置で日高理事長が記念講演

▲「社会知性の開発」と題し講演する日高理事長

「社会知性」の重要性を強調

地域に開かれた活動に期待

本学は6月20日、地域の課題解決に向けた研究を行う「共創研究センター」の設置を記念して講演会と祝賀会を開いた。

講演会は日高義博学校法人専修大学理事長・専修大学長が「社会知性の開発」と題して、専修大学の創立時から、いま大学が置かれている状況、今後求められる本学や専修大学の役割などについて語った。日高理事長は、社会の諸問題を主体的に考える「社会知性」を学生が身につけることの重要性を指摘した上で、これからの大学に求められる役割として社会貢献を挙げ、地域に開かれた同センターの活動への期待を語った。

これに先立ち、坂田隆学長と丸岡章・共創研究センター長（理工学部教授）が、産官学が連携した共同研究を進めることで、石巻地域の活性化を図ることがねらいだと話した。また、今年度の研究テーマとして、県東部地域の観光資源開発や水環境改善の研究など、5つの地域課題解決型の研究プロジェクトに取り組んでいくことも明らかにした。

カツオの三枚おろしに挑戦

さばきかた―実演・体験試食会

▲慣れない手つきでさばく学生

石巻市水産振興協議会が主催する「カツオのさばきかた実演・体験試食会」が7月9日、学生食堂で開かれた。学生約20人が、三枚おろしに挑戦した。

石巻漁港の年間水揚げ量は全国の漁港の中でベスト5に入っており、水揚げされる魚の2割はカツオ。地元の水産物を実際に学生に味わってもらい、その魅力を内外に広めるサポーターになってもらいたいと、同協議会が毎年、本学で開催している。

当日は地元の水産業者が7キロ程度のカツオ5匹を提供。学生食堂を運営する石巻漁港サービス㈱の気仙雅夫社長が講師を務め、見事な包丁さばきで三枚おろしを実演してみせた。学生たちは慣れない手つきでカツオをさばき、刺し身を試食。「おいしい」と言いながら笑顔でほおばっていた。

海浜公園で清掃活動

「ISプロジェクト」活動の一環

本学と石巻信用金庫による地域活性化に向けた産学連携プロジェクト「ISプロジェクト」の一環として、7月4日、「日本一きれいな海水浴場　いしのまき」をテーマに石巻市内にある長浜海浜公園で清掃活動が行われ、本学の学生と教職員も参加した。

▲熱心に清掃活動に取組む学生たち

この清掃活動は、ISプロジェクトによる継続した清掃活動事業を構築し、地域への貢献を目的として実施された。当日は小雨が降りしきるあいにくの天候にもかかわらず、総勢220人を超える参加者があった。

◆ 2009年度 学生数（大学院）◆

5月1日現在／（　）内は女子内数

研究科		専攻	人
理工学	修士課程	物質工学	10(0)
		機械システム工学	1(0)
		生命科学	17(5)
	博士後期課程	物質機能工学	0(0)
		生命環境科学	2(0)
	小計		30(5)
経営学	修士課程	経営学	9(2)
	博士後期課程	経営学	3(2)
	小計		12(4)
合計			42(9)

◆ 2009年度 学生数（学部）◆

5月1日現在／（　）内は女子内数

学部	学科	人
理工	基礎理	173(43)
	機械工	224(2)
	情報電子工	171(4)
	生物生産工	215(44)
	小計	783(93)
経営	経営	1,204(134)
合計		1,987(227)

▶仙台駅でのキャンペーン活動

ポラリス宮城が結団式

大学生健全育成―ボランティア始動

大学生健全育成ボランティア「Polaris（ポラリス）宮城」の結団式が6月25日、仙台市の宮城県庁で行われ、本学からも2人の学生が出席した。

このボランティア組織は宮城県警少年課と連携し、中高生などの少年少女と年齢の近い大学生が非行防止活動に取り組むもの。学生たちは県警から連絡を受けてイベント、キャンペーンに参加する。宮城県内の7大学から50人が参加しており、本学では6人の学生が登録している。

結団式では県警生活安全部長のあいさつ、代表者の決意表明などが行われた。その後、学生たちは早速仙台駅に繰り出し、キャンペーン活動を行った。

育友会地方懇談会で「学び〝体験フェア〟」開催

本学の広報委員会と育友会が協力して、今年度からスタートさせた新たな企画「学び〝体験フェア〟」が、6月21日仙台市、同28日北上市、7月12日山形市の3会場で、育友会地方懇談会と併せて開催された。大学教員から学科の特徴や実験実習の様子などについて、直接話が聞ける貴重な機会とあって、どの会場にも受験生や育友会員が詰めかけ、好評だった。

▲パネル展示などで魅力を紹介

この企画は、地方懇談会に教職員が訪れる機会を利用して、開催地域の高校にも呼びかけて、大学のPRをしてはどうかという提案が育友会員から出されたことがきっかけとなり、今回開催の運びとなった。

各会場では、学科ごとにブースをつくり、パネルやゼミ資料の展示を行ったほか、個別相談コーナーなどもあり、幅広く本学の魅力を紹介した。

なお、今回の企画開催にあたっては、会場の手配から高校への呼びかけまで、育友会による全面的なバックアップがあった。

今後も「出張オープンキャンパス」として、さらなる参加者の増加が期待できそうだ。

専大北上高生が来訪

施設見学、学食体験も

▲坂田学長によるミニ講演の様子

専修大学北上高校の生徒たちが本学を訪れ、授業などを見学する「大学見学会」が7月7日と同14日に行われた。初めての大学キャンパス体験を終えた生徒たちの中には、早くも本学進学に意欲を見せる生徒もおり、満足した様子だった。

見学会には7日は普通科、商業科、自動車科合わせて231人の2年生の生徒が、14日には同じく3科合わせて278人の1年生の生徒が参加した。

両日とも午前、本学に到着した生徒たちは森口記念館に集まり、開講式に出席。坂田学長のミニ講演を聴き、大学紹介のDVDを視聴した後、学生食堂で学食体験。

午後からはスタンプラリー形式の施設見学が行われ、生徒らは思い思いの場所に自由に出かけ、興味深げに各施設を見て回っていた。

その後、クラスごとに分かれ、理工学部と経営学部の4授業を見学。見学した授業内容は、高校生用にアレンジしたものではなく、普段の授業の様子を見てもらうという趣旨で行われ、生徒らは初めて体験する大学の授業に真剣な面持ちで聴き入っていた。

「学びの特徴を知ろう」

「オープンキャンパス」開催

奨学金・進学資金等の説明会も

6月28日、第2回オープンキャンパスが開催された。今回は受験生に本学を詳しく知ってもらおうと、「学びの特徴を知ろう」をテーマに、各学部学科の学びの特徴が理解できるプログラムが用意された。

各学科教員による学科説明や分かりやすいパネル展示など多彩なメニューを参加者に提供。年々、保護者の参加が増加している傾向を踏まえ、「奨学金・進学資金等の説明会」も開かれた。学生スタッフによるキャンパスツアーも好評で、参加者は自動車工学センターなど学内の施設を見て回った。次回は7月26日に開催する。